

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 10 回幹事会議事録

日 時：平成 28 年 11 月 15 日（火）14:00～17:30

場 所：土木学会誌 B 会議室

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，池田幹事，大久保幹事，葛西幹事，斎藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，~~平~~村幹事，~~平~~幹事，中村幹事，~~広~~瀬幹事，牧幹事，~~松~~本幹事，溝江幹事，久米村事務局

配布資料：

- 資料 幹 10-0 平成 27・28 年度第 10 回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹 10-1 平成 27・28 年度第 9 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹 10-2 第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム準備
- 資料 幹 10-3 論文集 A1 特集号：複合構造
- 資料 幹 10-4 新設小委員会（CFT 部材の活用）
- 資料 幹 10-5-1 次期委員長候補選出方法について
- 資料 幹 10-5-2 委員長選出のご案内
- 資料 幹 10-5-3 次期委員長候補者 立候補・推薦用紙
- 資料 幹 10-5-4 複合構造委員会委員長候補者選考細則
- 資料 幹 10-6-1 平成 28 年度全国大会共通セッション報告
- 資料 幹 10-6-2 平成 28 年度全国大会研究討論会報告
- 資料 幹 10-7-1 出版関係
- 資料 幹 10-7-2 平成 29 年度複合構造委員会出版企画
- 資料 幹 10-7-3 平成 27 年度在庫評価計算書_絶版候補
- 資料 幹 10-8 第 1 回日中ジョイントシンポジウム報告
- 資料 幹 10-9-1 10 周年記念式典に関する資料
- 資料 幹 10-9-2 10 周年記念式典 PD 企画
- 資料 幹 10-9-3 10 周年記念式典 PD プログラム
- 資料 幹 10-10 平成 29 年度重点研究課題案
- 資料 幹 10-11-1 平成 29 年度全国大会共通セッションテーマの募集
- 資料 幹 10-11-2 平成 29 年度全国大会共通セッションテーマ申込み（複合構造）
- 資料 幹 10-12-1 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 資料 幹 10-12-2 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会
- 資料 幹 10-12-3 H106 FRP による補修・補強指針作成小委員会
- 資料 幹 10-12-3 H106 FRP による補修・補強指針作成小委員会（参考資料：各種議事録）
- 資料 幹 10-12-4 H150 各種ずれ止めの性能設計調査研究小委員会
- 資料 幹 10-12-5 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 資料 幹 10-12-6 H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会
- 資料 幹 10-12-7 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水研究小委員会
- 資料 幹 10-12-8 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープ研究小委員会
- 資料 幹 10-12-9 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 資料 幹 10-13 平成 28 年度委員会予算執行状況
- 資料 幹 10-14 第 4 回委員会議事次第（案）
- 資料 幹 10-15 土木学会国際貢献賞等推薦について

資料 幹 10-16-1 平成 29 年度ジョイントセミナー・国際シンポジウム実施テーマの募集

資料 幹 10-16-2 ジョイントセミナー・国際シンポジウム等 助成申請書

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より、幹事会開催にあたり挨拶があった。

1. 第9回幹事会議事録案の確認（資料 幹10-1）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり、承認された。

2. 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（資料 幹10-2）

大久保幹事より、資料に沿って説明があり、シンポジウム当日の各担当者について確認がなされた。また、事前申込み者数が32名であったとのことで、当日参加の要請がなされた。

3. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（資料 幹10-3）

牧幹事より、資料に沿って説明があり、第4号での委員会報告の対象委員会について確認がなされた。対象はH213(更新改築)委員会のみとし、同委員会に執筆の準備を始めていただくこととなった。

4. 新設小委員会（CFT部材の活用）の設置（資料 幹10-4）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。前回幹事会での議論に基づき、鬼頭委員、池田幹事、平幹事の3名で設立に向けた準備会合を開き、具体的な活動内容について整理した。次回の親委員会で、この活動内容について記した資料を設立趣意書とともに提出し、委員会設立を審議していただく。なお、活動内容について、調査結果の整理に留まらず、結果の分析やCFT構造の新たな活用方法の模索に注力していただきたいとの意見が出された。また、現在のところ、平幹事が幹事長候補となっているが、再度、意思確認することとなった。

5. 次期委員長選挙（資料 幹10-5-1～10-5-4）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。11月21日に立候補・推薦を締め切り、11月下旬に投票用紙を送付する。12月10日に投票を締め切り、親委員会の前日の12月15日に開票を行う。

6. 平成28年度全国大会報告

(1) 共通セッション（資料 幹10-6-1）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。講演数が41、参加者数が158人であり、昨年度（講演数44、参加者数187）よりも参加者数が大きく減少した。参加者数は延べ人数であり、セッション数が8から6に減少したためではないか。

(2) 研究討論会（資料 幹10-6-2）

齋藤(隆)幹事より、資料に沿って説明があった。参加者数は80名ほどであり、討論会の中で参加者からアンケートを取るという取り組みを行った。

7. 出版関係

(1) 出版物販売状況（資料 幹10-7-1）

大久保幹事より、資料に沿って説明があった。レポート9から12を今月のFRPシンポの会場で販売する。

(2) 出版企画（平成29年度）の応募報告（資料 幹10-7-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。H103(書籍), H212(耐荷メカ), H213(更新改築)委員会の出版企画書を提出した。H103の発刊部数は、講習会を行わないことを考慮し、400部とした。H103はシリーズとして発刊するため、幹事会で査読・審議し、親委員会で意見照会する。よって、出版委員会への原稿提出は3月末としたほうがよいとの意見が出され、大久保幹事が変更の対応を行うこととなった。また、H213について、原稿提出から発刊までの期間が2か月しかないため（3ヶ月必要）、発刊予定日を6月末まで遅らせ、講習会の開催予定を7月に変更することとした。

(3) 土木学会在庫図書の処分について（資料 幹10-7-3）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。発刊から5年経過したものの中で、ここ3年の繰入率が連続して100%のものが絶版になる。ただし、1度でも90%を下回れば、その先3年間は絶版にならない。このようなルールから次年度はレポート04(維持管理)が絶版になる見込みである。

前回幹事会でも議論のあった絶版図書の電子化について、複合構造委員会が電子化して独自にHP上で公開することは可能であるが、その場合、図表等の転載許可を複合構造委員会で改めて取り直す必要があることがわかった。また、出版委員会を通して電子化して販売するには一般の学会員からの強い希望が必要であることもわかったため、今年度の絶版候補になっているシリーズ04(FRP歩道橋)とレポート06(樹脂材料)について、西崎副委員長と相談しながら、複合構造委員会として希望を出すか検討していくことになった。

8. 第1回日中ジョイントシンポジウム報告（資料 幹10-8）

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。資料は同シンポジウムの開催に関する記事が掲載された日刊建設工業新聞の抜粋である。中国側からの出席予定者が急きょ参加できなくなったというトラブルもあったが、無事に2日間のシンポジウムを終えることができた。次回は2年後に北京で開催する予定である。

9. 10周年記念式典

(1) 全体計画（資料 幹10-9-1）

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。記念式典では栗田先生を含む歴代委員長から5分ずつのご挨拶を頂戴した後、大垣小委員長からこれまでの活動のまとめを紹介いただき、その後、パネルディスカッション（約2時間）を開催する。また、奥井委員長に閉会挨拶の依頼があった。なお、式典後の懇親会は実行委員会が運営する。

(2) パネルディスカッション（資料 幹10-9-2, 10-9-3）

牧幹事より、資料に沿って説明があった。資料記載の6名に話題提供を依頼済みであるが、海外事例について依頼した川端委員から幹事会への協力要請があったとの報告・相談がなされた。議論の結果、海外事例の話題提供は奥井委員長が代わって行うこととなった。また、話題提供に使用するパワーポイントの公開についても議論が行われ、公開する方向で話題提供者と相談することとなった。なお、パネルディスカッションの司会は牧幹事が務めることとなった。

10. 平成29年度重点研究課題案（資料 幹10-10）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。構造工学委員会で留学生を対象にしたセミナーを開催しているとの情報があり、同委員会と連携できないか、同委員会の委員でもある松本幹事に検討いただくこととなった。なお、連携できることになった場合、対象は橋梁だけではなく、構造一般としたほうがよいとの意見があった。また、国際センターとの連携も必要であるとの意見から、松本幹事から上田委員に打診していただくこととなった。

11. 平成29年度共通セッション応募（資料 幹10-11-1, 10-11-2）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．例年同様，応募する．

12. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹10-12-1）

斉藤幹事より，資料に沿って説明があった．10月7日に第1回全体委員会を開催した．当面は編ごとに活動していく．

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（資料 幹10-12-2）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．平成29年7月の発刊を目標に原稿を作成中である．

(3) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会（資料 幹10-12-3）

中村幹事より，資料に沿って説明があった．共通編WG，鋼構造WG，コンクリートWG，材料・試験法WGに分かれて活動中であるが，共通編WGから，補強工法によらない（FRP補強に限定しない）補修補強に関する原則的な事項を記載する標準案を作成し，FRP接着工法の標準的方法を記載する仕様編との2編構成にするという指針構成案が提出された．小委員会幹事会での議論した結果，この標準案の作成に関しては別途検討委員会を設けるべきではないかとの意見が出され，親委員会幹事会で審議いただきたいということになった．

審議の結果，FRPによる補修・補強は，工法によらない補修・補強の原則に基づき行われるべきとの見解で一致したが，小委員長の意向が重要であるため，奥井委員長から小委員長に連絡していただくことになった．

(4) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会（資料 幹10-12-4）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．次回委員会を11月21日に開催予定である．

(5) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹10-12-5）

牧幹事より，資料に沿って説明があった．活動期間も残すところ半年であるため，まとめを意識しつつ，多方面から作業を進めている．

(6) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会（資料 幹10-12-6）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．報告書を執筆中であり，12月8日開催の委員会で1次原稿が提出される予定である．

(7) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会（資料 幹10-12-7）

溝江幹事より，資料に沿って説明があった．次回委員会は12月中に開催し，首都高から話題提供をいただく予定である．

(8) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹10-12-8）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．現在はWGに分かれて活動を行っており，12月8日に次回委員会を開催予定である．

(9) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹10-12-9）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．11月30日に次回委員会を開催予定である．

13. 平成28年度予算執行状況（資料 幹10-13）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。予算が割り当てられている委員会の連絡幹事は、次回の幹事会で予算の使用予定を報告することとなった。

14. 第4回委員会議事次第（資料 幹10-14）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。新設小委員会（CFT部材の活用）の設置について審議いただくとともに、H181(合成床版)委員会の活動終了報告を行う。

15. 平成28年度国際貢献賞推薦（資料 幹10-15）

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。推薦書の提出期限は平成29年1月20日である。滝本幹事長から委員へメール連絡し、推薦を募ることとした。

16. その他

- ・滝本幹事長より、資料 幹10-16-1, 10-16-2に沿って、ジョイントセミナー・国際シンポジウム実施テーマ募集案内の説明があった。申請書の提出期限は平成29年1月18日である。アイデアがあれば滝本幹事長まで連絡することとなった。
- ・平成29年3月の幹事会の日程について、後日、改めてアンケートを取るることとなった。候補日は3月3日、4日あるいは10日、11日のいずれか。

以 上

（記録・文責：溝江）